南アルプス市 平成 26 年度

事務事業マネジメントシート

(兼)予算編成資料•実施計画資料	作成日 H	27 年	3 月	31 日作月

出ノルノスロ	(兼)予算編成資料•実施語	計画資料	作成日 H 27	年 3 月	31 日作成
	芦安農業集落排水事業特別会計繰出金	所属部局 所属課室	建設部	単位番号	7129
事務事業名	P 女 辰 未 朱 洛 併 小 争 未 付 別 云 司 採 山 並		下水道課	課長名	杉山 正紀
	□ 実施計画事業	所属担当	総務管理担当	担当者名	時田 啓
基本政策	基 Ⅲ うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目		款項	目 細目 細々目
	本	7 21 11 1	7.00		02 060 01
政 策	計 14 上下水道の整備		□ 国の制度による義		
- X X	<u> </u>	事業区分	□ 県の制度による第		1111001 22 24 13 37 24
施策	体 23 下 水道等の整備	4.26.23	□ 市の制度による第		
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	**		□ 義務化されている	協議会等の負	L担金
事業期間	□ 単年度のみ ☑ 単年度繰返 (開始年度 年度)	法令根拠	下水道法		
	□ 期間限定複数年度 (~ 年度)				
事事業の内容・・・	別間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 水事業特別会計への繰出金	事業費の主	な内訳 (26年度	決算見込)	
務·芦安農業集落排	水事業特別会計への繰出金 纟集落排水運営費、公債費に充当している。	項目(細) 管理費繰出。 事務費繰出。 公債費繰出。	節) 金額(千円)	項目(細	節) 金額(千円)
	R来洛弥小連呂賃、公賃賃にガヨしている。 TTVカメラ調査を実施。	官理負標口含	金 177 金 3,834 金 9,432		
		事務負除山 ² 八 售 弗緼山	並 3,034 会 0.429	: <u>}</u>	
概		ム貝貝林田	<u>v.</u> 5,452	: :	
の 概 要				許	13,443
	- \	1	<u> </u>	. н	10,110
1 現状把握(D	0)				
(1) 事務事業の目的	と指標				

g				計	13,4
1 現状把握(DO) (1) 事務事業の目的と指標	_				
① 活動		⑤ 活動指標(事	務事業の活動量	』を表す指標)数字は記入しなり
26年度活動内容 ・農業集落排水事業特別会計への繰出金の支出		ア縄川仝類	- 名称		里位
27年度活動予定・農業集落排水事業特別会計への繰出金の支出	▏⇒	イ			
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	1	⑥ 対象指標(対	象の大きさを表	す指標)数字	は記入しない
・農業集落排水事業の全体計画区域内の住民。	l ⇒	ア計画処理人	名称 □		単位 人
	Ì	イ ウ (3) ポ 男 は 標 …			
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)		<u>// </u>	<mark>象における意図の</mark> 名称	達成度を表す?	指標)数字は記入しる 単付
・農業集落排水施設の適正な維持管理を行う。	⇒	ア処理区域内	加入率(世帯)		%
		ъ Ċ			
<u>④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)</u>		8 上位成果指	標(結果の達成原 名称	度を表す指標	<mark>!)数字は記入しな</mark> 単付
・清潔で快適な住環境を確保する。	⇒	ア			未把握
	1	[1]		<u> </u>	

(2)	事	業費・指標の推移	多	単位	24年度 (決算·実績)	25年度 (決算·実績)	26年度 (決算見込·実績)	27年度 (予算·目標)	28年度 (計画·目標)	29年度 (計画·目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年		財 国庫支出金	金	千円							
节間		源県支出金		千円							
 E	業	^你 地方債		千円							
	書	その他		千円							
タ	貝	一般財源		千円	23,391	17,704	13,443	13,787	13,500		
11.		事業費計(A	.)	千円	23,391	17,704	13,443	13,787	13,500	0	0
コ	人	正規職員従事人	.数	人							
	件	延べ業務時間		時間							
î	費	人件費計(B)	_	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)		千円	23,391	17,704	13,443	13,787	13,500	0	0
			ア	円	23,391,000.0	17,704,000.0	13,443,000.0	13,787,000.0	13,500,000.0		
		活動指標 イ									
			ゥ								
			ア	人	660.0	660.0	660.0	660.0	660.0		
	対象指標 しん		イウ								
			ア	%	73.0	77.8	77.8				
		成果指標	1		68.7	65.5	65.5	65.5	65 . 5		
			ウ								
	H	位成果指標		未把握							
	工位及末1115年 イ										

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

1	この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたの か?	・住民の生活環境改善のため平成2年より事業認可及び施設整備に着手した時点において開始。
2		・開始時期と比べ、使用区域内人口が減少してきている状況であり、使用料の徴収額が減少傾向に対し施設の維持管理費は一定の金額で推移しているが、今後施設の老朽化により増えていくと考えられる。
3	事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議 会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	・特に無し。

(4) 改革改善の取り組み状況

(3) 3(1) 3(D) 3(D) 3(D) 3(D) 3(D) 3(D) 3(D) 3(D	
① 改革改善の取り組み実施は?	☑ 取り組みしている ⇒【内容↓】 □ 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	・繰出し金を一定にするための管理に努める。 ・一定額に沿った事務事業の実施。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	・一定額に沿った事務事業の実施。

	事務事業名 芦安農	 農業集落排水事業特別会計繰出金	所属部	建設部	所属課	下水道課	
2	評価(Check1)担当者による事	『後評価 (複数年度事業は途中評価)					
	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系 の施策に結びつき、貢献しているか? 意図が上位目的に結びついているか?	□ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 を					
的妥当性	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行 わなければならないのか? 民間やNPO、市民協働に移行すること は可能か?	✓ 妥当である ⇒【理由↓】・市民の生活環境を向上させることが目的であ	るため、妥当で	_	_		
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続 していくことは妥当か?目的や事業の必 要性を見直す余地はあるか?	✓ 適切である ⇒【理由↓】・供用開始区域に変更がなく、処理区域内の/	⇒ 3評価(C	heck2)・4今後の	方向性に反映	<u> </u>	
	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事 業の目的に向けて現状よりも成果を向 上させることはできるか?できない場合 は何が原因でできないのか?	かなり向上余地がある ⇒【理由↓ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓ 向上余地がない ⇒【理由↓ ・使用人口の減少、高齢化による基本料金の減理にも大きな影響を与えて来ている。既存施設	】 ⇒ 3記 】 成額(65歳以上		今後の方向性に 同料の収納状況か	反映 ぶ低下し、施設の維持管	
有効性評価			と具体案↓ ↓】	】 ⇒ 3評価(後の方向性に反映	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか?また成果から考えて、休止・廃止することはできるか?	□ 影響なし☑ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】・施設の維持管理が出来なくなる。		□ 休止・廃止ができた 休止・廃止できた 休止・廃止できた・ 施設の維持管理が	ない ⇒【理由↓】		
効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減 できないか?(仕様や工法の適正化、 住民の協力など)	 □ 削減余地がある ⇒【理由・具体案 ☑ 削減余地がない ⇒【理由↓】 ・繰入金の大部分が公債費の元利償還金に充い。 		3評価(Check2) 今後も長期にわたり			
住評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できない か?(事業のやり方の見直しによる業務 時間の削減や臨時職員対応や外部委 託による削減はできるか?)	 □ 削減余地がある ⇒【理由・具体案・ ☑ 削減余地がない ⇒【理由↓】 ・農業集落排水事業における経営規模(人口の費の計上は不可能であり、下水道事業特別会)減少、高齢化		より、使用料収納状	況の低下)では、人件	
平性証	③ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか?受益者負担を見直す必要はないか?公平公正か?	 □ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案・ ☑ 公平・公正である ⇒【理由↓】 ・施設の利用に対しての受益者負担金、使用料 		3評価(Check2) るため、公平、公正		.に反映	
3	評価(Check2)担当課管理者	こよる評価結果と総括		_		_	
		するなど、戸安地区に欠かせな	安地区の生活 い施設である 元利償還金も	環境を改善させ、また。 。この整備には、多額 一般会計からの繰出	と、河川等の公共用 頁の建設費を要し、 日金によるところとな	水の水質保全を確保 その財源の多くは公債	
4	今後の方向性(事務事業担当課	案)(PLAN)					
<u>(1</u>) <mark>今後の事務事業の方向性(Check</mark> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	1の結果から定める)・・・複数選択可 「事業統合・連携(有効性⑤の結果」	見状維持(全評		*.	コスト水準 維持 増加	
(2 ・繰)改革改善案について 出金額を毎年ほぼ一定にするための事 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	務事業の実施。			成果水準 ※廃止・休止 ※原・休止 ※原・休止	にの場合は記入不要 評価結果 平成26年度	
	特管理費との整合性。				◡◞ਝ◑刃ਝ未逐兀及	川川四本 丁八八十八	

成果優先度評価結果

コスト削減優先度評価結果